

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験2020の報告

これまでの経緯・背景

2017年策定の「三鷹駅北口街づくりビジョン」に位置づけられた「住む人、働く人が集い、心地よく過ごす街」を目指し、2019年に引き続きパブリックスペースを利活用した社会実験を実施しました。

実施にあたっては、多世代・日常的な利用可能性を検証し、民間主導の取組みを支援する観点に加え、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、新しい生活様式に合わせた滞在の場づくりを目指して、地域の店舗と調整を行いました。

2017年度

三鷹駅北口街づくりビジョン

三鷹駅北口地区の概ね10年後の目標像を描き、3つの視点から街づくりの方向性と考え方、その実現に向けた取り組みを示しています。

2018年度

三鷹駅北口街づくりラボ(三鷹ラボ)

既存の公開空地や道路空間などのパブリックスペースの活用について、講話や視察、ワークショップなどを通して、地域の事業者・住民・企業の方々とともに学びました。

社会実験検討

2019年度～

三鷹駅北口パブリックスペース利活用社会実験

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを活用した、地域連携によるまちづくり、にぎわい創出の検証を行いました。

交通規制(車両通行止め)を伴う車道のイベント的利用(4日間)

歩道の余裕空間を活用した民間主導の日常的利用(47日間)

社会実験の継続 交通体系の検討

社会実験の実施概要

三鷹駅北口周辺を「歩行者を中心とするにぎわいのエリア」とするため、歩道上にテーブルやイスを設置して、街なかでのちょっとした休憩や、沿道飲食店を利用しやすい環境づくりに取り組みました。

ENJOY!

OPEN TERRACES 武蔵野

MUSASHINO



開催趣旨

三鷹駅北口周辺のパブリックスペースを利活用した、地域連携によるまちづくり、新しい生活様式に合わせた多世代・日常的な滞在空間創出の検証

協力

駅前酒場易木屋・ニクータ"NICUTA"・京樽三鷹北口店・三鷹駅北口街づくりラボ・三鷹駅北口商店会・八丁商和会・武蔵野市中央地区商店連合会(順不同)

実施期間

2020年10月15日(木)
～11月30日(月)

実施場所

京樽前、易木屋前、
ニクータ前の歩道

実施内容

沿道店舗による
歩道上への
カフェセットの
設置・管理・運営



▲ 位置図

実施状況



▲ 京樽前利用状況



▲ 易木屋前利用状況



▲ ニクータ前利用状況

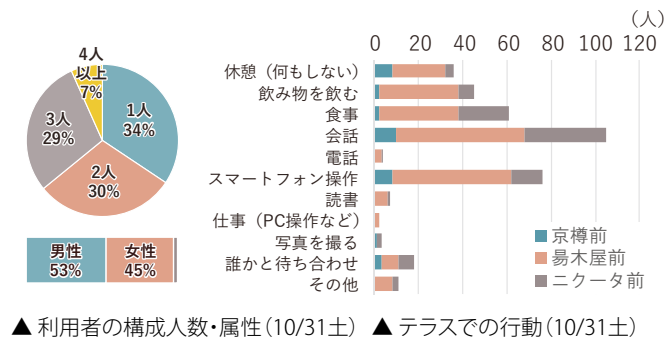
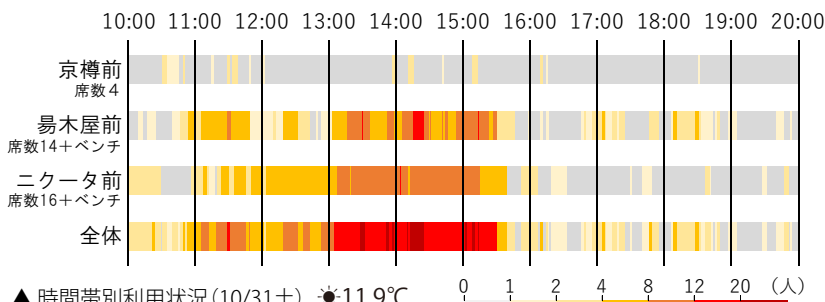


オープンテラスに関する
情報&アンケート
Facebook
アンケート
1015-1216

社会実験の結果

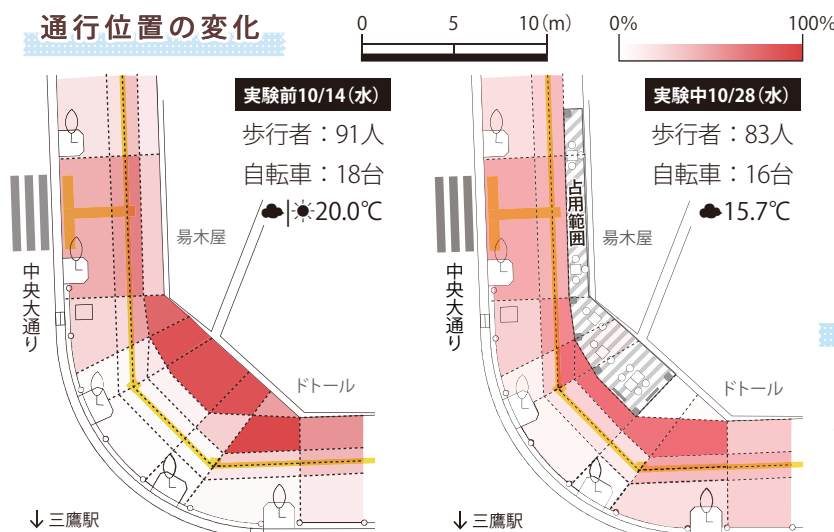
社会実験では、ちょっとした休憩から飲食を伴う長時間滞在まで多様な使われ方が観察されました。交通面等での大きな問題は発生せず、期間を通じて順調に運用されました。調査結果等の一部をご紹介します。

利用状況



設置したカフェセットと近くのベンチの利用者を平日休日各1日ずつ計測したところ、平日113人、休日195人の利用がありました。特に休日の午後は多くの方に利用され、会話や食事をはじめ多様な行動が見られました。休日の平均利用時間は20分、半数は9分以下と短時間での利用が多く、特にベビーカー連れで利用する方が19人と多く見られました。

通行位置の変化



実験前は建物寄りに通行者が集中し、視覚障害者誘導用ブロックより道路側はほとんど通行する人がいませんでしたが、カフェセット設置中は、通行位置が分散し、歩道の全体を通行しています。

また、調査区間を通行する時間は歩行者で4秒、自転車で3秒長くなり、道路の外側をゆっくりと通行する傾向が見られました。

アンケート結果

利用者の9割、通行者の3割が満足との回答でしたが、利用者の9割、通行者の7割が今後も利用したいと回答しました。

また、4割の回答者が新型コロナウイルス感染症の影響で三鷹駅北口で飲食する機会が減っていると回答しました。

利用者の声

- ・犬の散歩がてら食事をしたりして、良い気分転換になる。
- ・子連れなので、バスや車を眺めながらつろがて良かった。
- ・気候が良ければとても気持ち良いと思う。
- ・舗装がレンガ調で、オープンテラスの雰囲気と合っていた。
- ・実施規模が小さく、通行人が気になり利用する気になれない。

参加店舗の声

- ・天気の良い週末はテラス席利用客が増え、売上につながった。
- ・感染症対策が求められる中で、このような取組はありがたい。
- ・集客が見込めない日は設営・撤収が負担に感じる。
- ・フリーWi-Fiがあると利用者層が広がるのではないかな。
- ・外で飲食するには寒い日が多く、効果を十分検証できなかった。

今後の事業実施に向けて

三鷹ラボの成果や2019年・2020年の社会実験結果を踏まえ、今後市では、地域の企業や団体によるパブリックスペースを活用した事業展開をサポートするとともに、持続可能な仕組みづくりや新たな利活用可能性等を検討していきます。

引き続き、目指すべき街の姿の実現に向けて、街に関わるあらゆる方々との一層の連携を図り取組んでまいります。

